

琉球弧・西日本で進む準戦時体制

愛知で進む兵器生産

2022年12月16日、岸田政権は敵基地攻撃能力の保有を柱とした安保3文書を閣議決定し、敵基地攻撃ができる長射程ミサイル＝スタンド・オフミサイルの購入や開発・配備などを進めています。

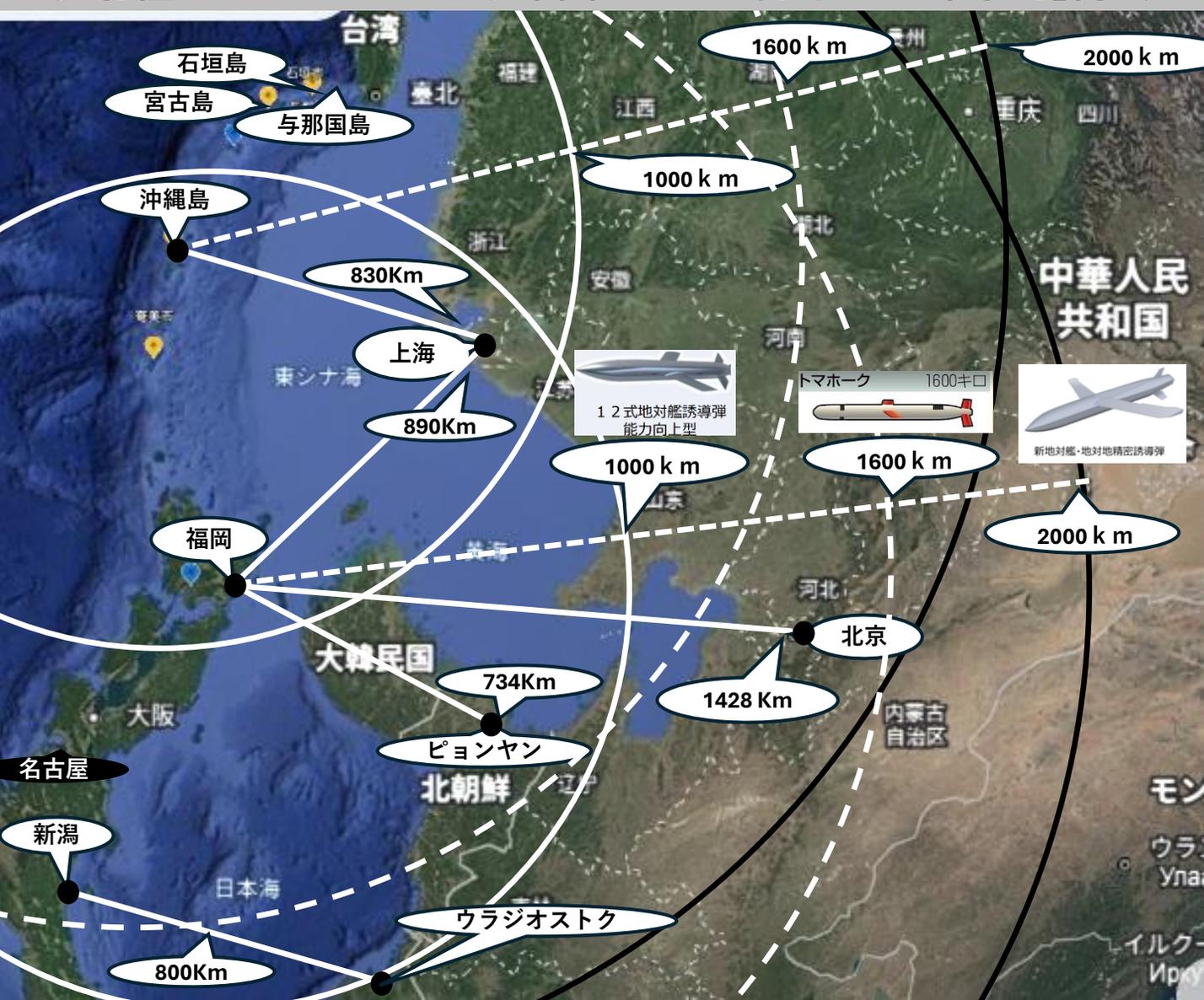
2025年7月28日(月)の時事通信による報道では、防衛省は12式地对艦誘導弾能力向上型(射程約1000km)を2025年度末までに熊本県健康軍駐屯地(福岡から南約100km)に、2026年春には大分県の由布院駐屯地(福岡から南東約100km)に、将来的には沖縄島の勝連駐屯地にも配備する予定です。

下記の図より台湾海峡や上海、ピョンヤンやウラジオストクまでが完全に12式地对艦誘導弾能力向上型の射程範囲内であることがわかります。

また2025年からは射程1600kmのトマホークも配備が開始され、射程2000kmの新地对艦・地对地精密誘導弾の開発も開始されました。

これらの兵器が周辺国にとって「軍事的」脅威であること、また憲法9条および憲法前文の平和主義に反することは明白です。

長射程ミサイルがもたらす中国・ロシア・朝鮮への「軍事的」脅威



愛知で進む兵器生産

| 名称 | 射程 | 現状 | 受注会社 | 整理番号 |
|-----------------------------|------------|--------------|-----------------|------|
| 12式地対艦ミサイル改良型 | 1000km | 2025年度中に配備開始 | 三菱重工 | ① |
| 島嶼防衛用高速滑空弾 | 500~1000km | 2025年度研究完了 | 三菱重工 | ② |
| 島嶼防衛用高速滑空弾能力向上型 | 3000km? | 開発中 | 三菱重工 | ③ |
| 新地对艦・地对地精密誘導弾 (和製版トマホーク) | 2000km | 開発中 | 三菱重工 | ④ |
| 極超音速誘導弾 | 2000km | 開発中 | 三菱重工 | ⑤ |
| J S M(航空機搭載) | 500km | 2025年度配備予定 | 伊藤忠 アビエーションズ | ⑥ |
| JASSM(戦闘機搭載) | 900km | 2027年度配備予定 | ロッキードマーチン | ⑦ |
| トマホーク | 1600km | 2025年度配備予定 | アメリカ政府 | ⑧ |



**三菱重工
小牧北工場**

国産スタンドオフミサイルのほとんどが三菱重工小牧北工場で開発・製造されている。



**日油
武豊工場**

日油武豊工場ではミサイル燃料や火薬の充填が行われている。近年、ミサイル製造増加に合わせて設備を増設している。

頻発する日油武豊工場での事故

2000年8月1日

火薬工場の火薬類一時置場で長期間存置されていた無煙火薬が爆発した。工場内の建物は全壊29棟など合計320棟が被災した。工場外の被害は79名が負傷し、周辺の家屋等は888棟が被災した。さらに飛散物が周辺の田畑に飛散し、周辺住民に大きな被害を与えた。

2009年11月4日

工場内での発火事故により従業員1名が死亡

2023年9月14日

配管の破損により火災と爆発が発生。

**有事の際に
真っ先に狙われるのは
軍事工場！**

琉球弧・西日本で広がる戦争準備

京都府精華町
1 陸自 祝園分屯地
 計14棟の大規模弾薬庫の建設計画
 豊庭野演習場での日米共同訓練では
 祝園弾薬庫保管の砲弾を使用

京都府舞鶴市
2 海自 舞鶴地方総監部
 敷地内およびトマホークを搭載するイージス艦
 配備の舞鶴基地隣接地に3棟の弾薬庫建設

京都府京丹後市
A 在日米陸軍 経ヶ岬通信所
 米軍Xバンドレーダー配備
 近畿唯一の米軍基地、運用から10年

鳥取県境港市
3 空自 美保基地
 C-2大型輸送機、KC-46空中給油機配備

鳥取県出雲市
4 陸自 出雲駐屯地
 第13偵察戦闘大隊が24年3月新設

山口県岩国市
B 米海兵隊 岩国航空基地
 専用港湾を持つ唯一の在日米軍航空基地
 日米共同演習で自衛隊機利用
 米海軍第7艦隊の中心、空母「ジョージ・ワシントン」艦載機配備

広島県呉市
5 海自 呉基地
 南西諸島に部隊や軍事物資を輸送するための自衛隊統合
 司令部直轄の部隊「自衛隊海上輸送群」の、10隻の輸送船を伴って司令部
 (2025年3月、陸自が主体) 編成予定。日鉄跡地に基地の大拡張計画が進行中

福岡県築上町
7 空自 築城基地
 米軍との共同使用計画(米軍宿舎完成)と
 滑走路の延長2700m、基地拡張計画(阻止中)

山口県防府市
6 空自 防府基地
 宇宙作戦隊新設

佐賀県野々里町
8 陸自 目達原駐屯地
 日米共同訓練「レゾリュート・ドラゴン24」実施

長崎県対馬市
9 陸自 対馬駐屯地
 2024年3月電子戦部隊配備

大分県大分市
13 陸自 大分分屯地
 敷地に長射程ミサイル用の大型弾薬庫9棟着工

長崎県佐世保市
10 陸自 相浦駐屯地
 2018年水陸機動団新設

長崎県佐世保市
11 陸自 崎辺分屯地
 水陸機動団

大分県湯布院町
14 陸自 湯布院駐屯地
 水陸機動団、第2特科団配備
 対艦ミサイル連隊配備予定(2024年度末)

長崎県佐世保市
C 佐世保 米海軍基地司令部
 MV22オスプレイやF35B戦闘機を搭載する
 強襲揚陸艦「トリポリ」配備配備

長崎県佐世保市
12 海自 佐世保地方総監部
 海上自衛隊のイージス艦「ちよukai」に米国製
 巡航ミサイル「トマホーク」の発射機能を付加
 弾薬庫建設予定

大分県玖珠町
15 陸自 玖珠駐屯地
 水陸機動団

熊本県熊本市
17 陸自 健軍駐屯地
 西部方面総監部(南西シフトの司令部) 配置
 対艦ミサイル連隊配備
 自衛隊熊本病院は南西諸島からの怪我人受入先

熊本県熊本市
18 陸自 北熊本駐屯地
 第8師団司令部、弾薬庫

大分県玖珠町
19 陸自 日出台演習場
 他国間共同訓練の増加
 米海兵隊155ミリ榴弾砲実弾砲撃演習

熊本県熊本市
19 陸自 高遊原分屯地
 南西シフトのヘリ拠点、格納庫新設

熊本県熊本市
20 陸自 大矢野原演習場
 日米共同訓練、幹部候補生訓練など

鹿児島県奄美市
26 陸自 奄美駐屯地
 地对艦ミサイル中隊、地对空ミサイル部隊、
 電子戦部隊、空自移動警戒隊の配備

宮崎県新富町
21 空自 新田原基地
 F35B戦闘機飛行隊配備(2024年度~)
 基地の大拡張計画が進行中

宮崎県えびの市
22 陸自 えびの駐屯地
 弾薬庫増設

鹿児島県瀬戸内町
27 陸自 瀬戸内分屯地
 施設内および隣接地に弾薬庫建設
 奄美基地分遣隊のある古仁屋に
 「海上輸送群」新設計画のためボーリング調査

鹿児島県さつま町
23 鹿兒島島さつま町
 巨大弾薬庫などを計画中

鹿児島県鹿屋市
24 海自 鹿屋航空基地
 弾薬庫の建設計画、無人機の一時配備

鹿屋島奄美基地分遣隊

鹿児島県西之表市馬毛島
25 鹿兒島島西之表市馬毛島
 陸海空自衛隊統合巨大基地建設中、全島を軍事要塞化
 航空自衛隊の最新鋭ステルス戦闘機F35Bの発着艦訓練を行う艦艇模擬施設の整備

宮崎県宮崎市上野野原
31 空自 宮古島分屯基地
 1972年に米軍からレーダー部隊を引き継ぎ、
 航空自衛隊の基地として開設。空・海・サイバー攻撃に対応

沖縄県うるま市
28 陸自 勝連分屯地
 第7地对艦ミサイル連隊、第304ミサイル中隊新編

宮古島
32 陸自 宮古島駐屯地
 700人、2019年開設
 宮古警備隊、第7高射特科群、第7地对艦ミサイル部隊
 (12式地对艦誘導弾装備の第302地对艦ミサイル中隊)、
 第444会計隊、宮古島駐屯地業務隊が配備
 ミサイル基地西側隣接地に約1.5haの拡張や電子戦部隊
 の配備が予定

沖縄県那覇市
29 陸自 第15旅団司令部
 陸自第15旅団が師団に新編(司令部等の地下化)

沖縄県那覇市
30 空自 那覇基地
 南西航空方面隊・第9航空団新編(F15・40機に増強)

宮古島
33 陸自 保良訓練場
 弾薬庫2棟建設、3棟目計画

石垣島
34 陸自 石垣駐屯地
 570人、2023年3月開設
 八重山警備隊、地对艦ミサイル部隊、地对空ミサイル部隊など配備
 さらに訓練場、グラウンドや宿舎建設など整備拡大が進む
 弾薬庫4棟には12式地对艦誘導弾など保管
 新たに長射程ミサイル配備計画。2026年度には電子戦部隊も配備予定

石垣島
35 空自 那覇基地
 南西航空方面隊・第9航空団新編(F15・40機に増強)

宮古島
36 陸自 宮古島駐屯地
 700人、2019年開設
 宮古警備隊、第7高射特科群、第7地对艦ミサイル部隊
 (12式地对艦誘導弾装備の第302地对艦ミサイル中隊)、
 第444会計隊、宮古島駐屯地業務隊が配備
 ミサイル基地西側隣接地に約1.5haの拡張や電子戦部隊
 の配備が予定

石垣島
37 陸自 石垣駐屯地
 570人、2023年3月開設
 八重山警備隊、地对艦ミサイル部隊、地对空ミサイル部隊など配備
 さらに訓練場、グラウンドや宿舎建設など整備拡大が進む
 弾薬庫4棟には12式地对艦誘導弾など保管
 新たに長射程ミサイル配備計画。2026年度には電子戦部隊も配備予定

石垣島
38 空自 那覇基地
 南西航空方面隊・第9航空団新編(F15・40機に増強)

宮古島
39 陸自 保良訓練場
 弾薬庫2棟建設、3棟目計画

石垣島
40 陸自 石垣駐屯地
 570人、2023年3月開設
 八重山警備隊、地对艦ミサイル部隊、地对空ミサイル部隊など配備
 さらに訓練場、グラウンドや宿舎建設など整備拡大が進む
 弾薬庫4棟には12式地对艦誘導弾など保管
 新たに長射程ミサイル配備計画。2026年度には電子戦部隊も配備予定

石垣島
41 空自 那覇基地
 南西航空方面隊・第9航空団新編(F15・40機に増強)

宮古島
42 陸自 保良訓練場
 弾薬庫2棟建設、3棟目計画

石垣島
43 陸自 石垣駐屯地
 570人、2023年3月開設
 八重山警備隊、地对艦ミサイル部隊、地对空ミサイル部隊など配備
 さらに訓練場、グラウンドや宿舎建設など整備拡大が進む
 弾薬庫4棟には12式地对艦誘導弾など保管
 新たに長射程ミサイル配備計画。2026年度には電子戦部隊も配備予定

石垣島
44 空自 那覇基地
 南西航空方面隊・第9航空団新編(F15・40機に増強)

宮古島
45 陸自 保良訓練場
 弾薬庫2棟建設、3棟目計画

石垣島
46 陸自 石垣駐屯地
 570人、2023年3月開設
 八重山警備隊、地对艦ミサイル部隊、地对空ミサイル部隊など配備
 さらに訓練場、グラウンドや宿舎建設など整備拡大が進む
 弾薬庫4棟には12式地对艦誘導弾など保管
 新たに長射程ミサイル配備計画。2026年度には電子戦部隊も配備予定

石垣島
47 空自 那覇基地
 南西航空方面隊・第9航空団新編(F15・40機に増強)



自衛隊基地 **弾薬庫建設(予定地含む)** **在日米軍基地**

1 自衛隊基地 **■** 特定利用空港
A 在日米軍基地 **■** 特定利用港湾
 ※他にも多数の自衛隊基地や施設・米軍基地あり

長射程ミサイルの配備開始

「12式地对艦誘導弾能力向上型」

熊本健軍駐屯地 (西部方面総監部・第5地对艦ミサイル連隊)
2025年度末配備

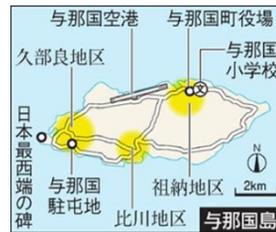
来春以降、湯布院駐屯地(大分県)や勝連分屯地(沖縄県)への配備予定。やがて宮古島・石垣島・与那国島・奄美大島(奄美駐屯地・瀬戸内分屯地)にも……



熊本健軍駐屯地



宮古島駐屯地



与那国島(黄色の部分)



石垣駐屯地

大型弾薬庫の建設



32年度までに大型弾薬庫130棟を増設する。2025年度予算は336億円。九州・北海道・京都など13ヶ所。長射程ミサイルやトマホークなども保管。火薬類取締法で規定されている保安距離は、国際弾薬技術ガイドライやNATO基準と比較して非常に短い

大分敷戸・住宅に隣接する弾薬庫



建設予定の鹿児島県さつま町で反対の声をあげる



市街地の真ん中にある京都祝園

武器取引で儲ける国（死の商人国家）へ

それまでの武器輸出のルールを変える（2023・12・22）

- 1, ライセンス生産品
- 2, 殺傷能力のある武器を搭載した製品
- 3, 国際共同開発品



輸出解禁



パトリオットミサイル（三菱重工）を米に輸出（約30億円）



日・英・伊で次期戦闘機を共同開発 2035年配備



豪次期フリゲート艦に護衛艦「もがみ」を売り込み（2025年度）

OSA（政府安全保障能力強化支援）同志国に武器を無償供与する仕組み 2025年度のOSA予算は80億円
ドローン（海上監視）、警備艇、レーダーシステムなど

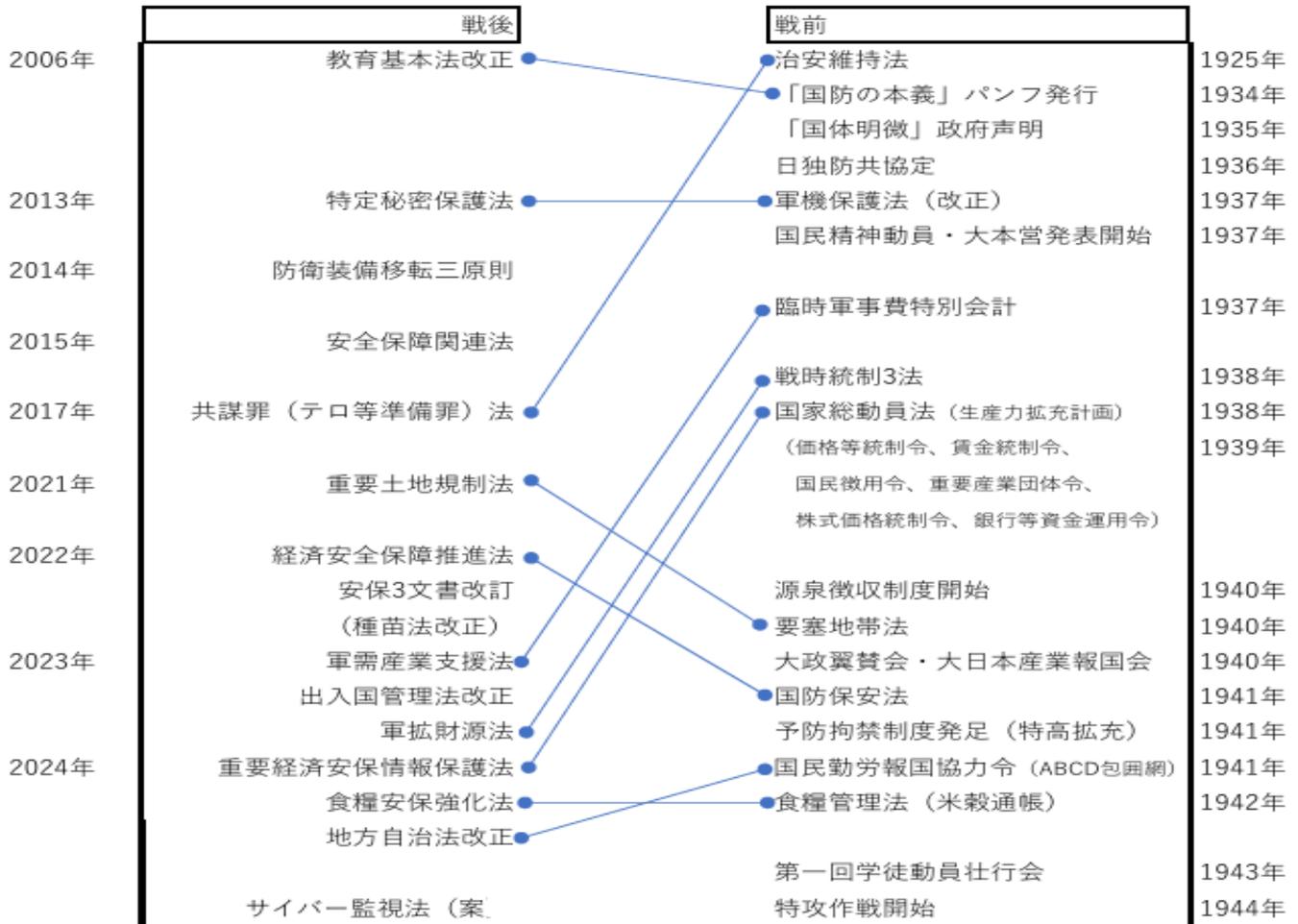
これまでの対象国：タイ、フィリピン、スリランカ、マレーシア、インドネシア、パプアニューギニア、東ティモール、トンガ

死の商人国家を支えるための法整備 防衛生産基盤強化法

○自衛隊の任務に「不可欠な装備品等」を製造する企業に対し、原材料や部品の供給網を整備する経費を国が援助 ○事業の継続が難しくなった場合、国が製造施設を国有化、○武器の輸出にかかわる経費も助成。○国が提供した秘密を従業員らが漏らした場合、「1年以下の拘禁刑または50万円以下の罰金」を科す。（2023・6・7成立）

私たちはすでに戦前の法に囲まれている

戦前（1945年以前）の法制度との比較



2025年？

スパイ防止法

？
？

敗戦

参政党は先の参議院選で14議席をとり、議案の提出権を得ました。神谷代表は「スパイ防止法」を公約にかかげました。神谷代表は選挙期間中に官僚、公務員を批判しつつ、「極左の人が社会の中枢にいる。極端な思想の人達はやめてもらわなければいけない、これを洗い出すのがスパイ防止法」と発言しました。思想統制をめざしています。戦争準備といえます。この動きに反対しなければなりません。

不戦ネットの紹介

詳しくは↓を

不戦へのネットワークは名古屋を中心に平和・人権について考え、行動している市民グループです。地域で、また全国各地で思いを同じにする人たちと情報交換や交流し、活動しています。

